



Library Liébana

2023年4月度展示内容のお知らせ

【今月のベアトゥス写本】

今月は、ベアトゥス写本群のなかで、系統I群の新版と系統IIaに分類されている写本5点を展示します。

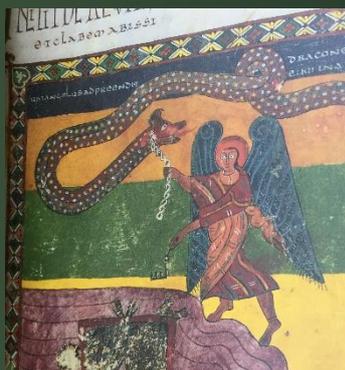
(大野松彦作図 P.K.クラインに基づく翻案図より)



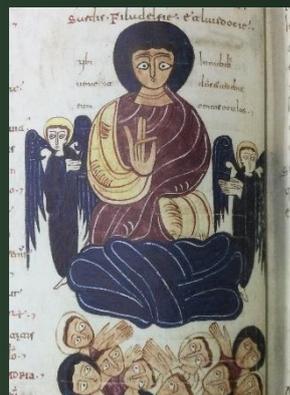
(マドリド写本
10世紀半ば)



(サン・スヴェール写本
11世紀半ば)



(モガン写本 10世紀半ば)



(サン・ミラン写本 10世紀後半
+12世紀前半)

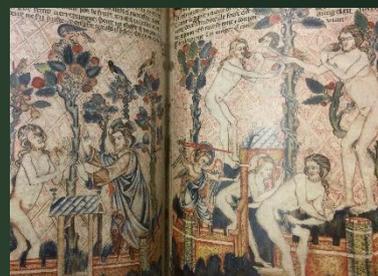
【ベアトゥス黙示録以外の写本】



(ウルジェイ写本 10世紀後期)



(新約聖書 Vat. Lat. 39
13世紀前半?)



(ホルカム聖書
14世紀前半)

ファクシミリ本でみるスペイン黙示録の世界 中世彩色写本を紹介

Google Map



愛知県豊田市西町5丁目5
VITS豊田タウン B1F
毎週日曜日 10:30~17:30

4月の開館日(予定)
日・水・木・金曜日

							4月
日	月	火	水	木	金	土	
26	27	28	29	30	31	1	
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	
30	1	2	3	4	5	6	

ファクシミリ本とは：
オリジナル写本の大きさや色を再現。
特に羊皮紙の厚みやしわも忠実に
再現した複製本も多数展示しています。



H.P.



Instagram



2日(日)、23日(日)はお休み、
7日(金)、28日(金)は午後から
です

ベアトゥスの黙示録註解書写本について

中世初期のイベリア半島北部アストゥリアス地方のリエバナにある修道院の修道士、ベアトゥス(ベアト Beato ? -798)が776年に「ヨハネの黙示録註解書」を編纂しました。原本は既に存在していませんが、非常に人気を博し、10世紀から12世紀にかけて多くの写本がイベリア半島はもとよりフランスやイタリアなどで制作されました。ほとんどの写本には、彩色された挿絵が多数描かれており、その鮮やかな色使いと想像力豊かなインパクトの強い挿絵が後世にながく影響を与えてきました。

これまでに発見されたベアトゥス写本のうち、挿絵入りのものは29 写本あり、そのうち完本の写本は22 写本、断簡の写本が7写本あります。

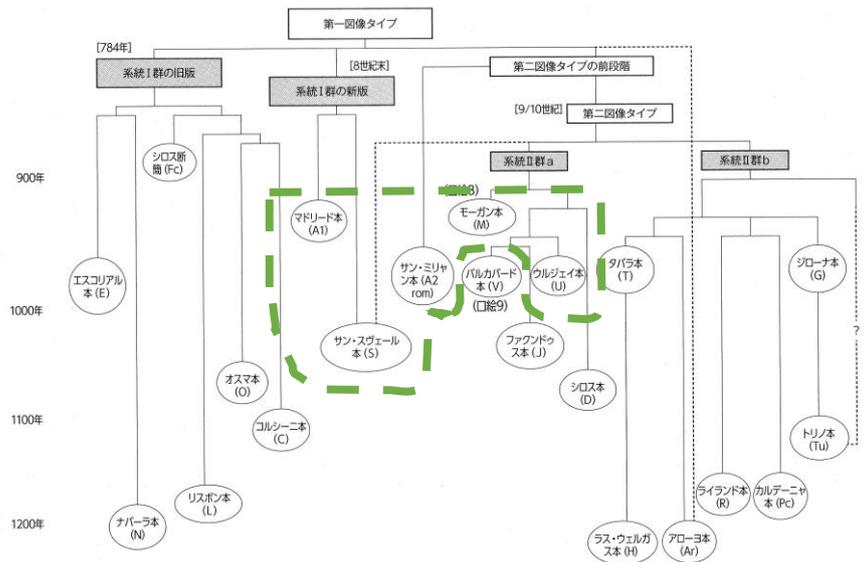
本ライブラリーには完本22写本のうち19写本のファクシミリ版があります。ファクシミリ版の中には羊皮紙の厚みやシワ・汚れ・破れ・落書きなどをそのまま再現した精巧なものもあります。

1000年近く前に作成された写本の当時の雰囲気味わってください。

今月の展示写本

ベアトゥスの写本群の系統図はいくつか発表されていて、右図はP.K.クラインが提唱するものを大野松彦博士が作図した翻案図です。

ベアトゥスの黙示録註解書は第1版が776年、第2版が786年(又は784年)、第3版が8世紀末に書かれたということです。今回は右図でいう系統 I 群の新版に属する2点と 系統 II 群aに属する写本3点を展示します。



図表 ベアトゥス黙示録(9-13世紀)の系統図(P.K.クライン [1976]に基づく翻案図)

[大野松彦作図]

【マドリッド写本】

920年～950年頃の制作と推定。挿絵が多く切り取られており、27点が残存するのみ。

挿絵はフレームのない状態で描かれており、Beatus写本の初期の姿と思われる。また全ページ大の挿絵も残されたものにはありません。

【サン・スヴェール写本】

ベアトゥス写本の中で唯一ピレネー山脈を越えたフランスの修道院で制作された写本。

2頁大の挿絵が5点、全頁大が36点あり、モサラベ様式の中にロマネスク様式がまざった挿絵が見られる。

【モーガン写本】

奥付けに写字・挿画をMAIUS(マイウス)が行ったと記載している。モーガン写本では挿絵に枠取りをして、画面の地を幾つかの帯状色面で抽象的に処理する手法を採用し、以降の写本の手本になったといえる写本。

【サン・ミリャン写本(コゴーリャ写本)】

途中まで10世紀半ばに書かれ、その後200年近く中断された後12世紀第1四半期に制作が再開された写本。そのために49点の挿絵がありますが、前半はモサラベ様式の画風で、後半はロマネスク様式となり、挿絵の画風が大きく変わっています。

【ウルジェイ写本】

10世紀後半にスペイン北部のアストゥリアス東部で作られた。ロマネスク様式のモサラベ風の90の彩色挿絵が描かれています。

【その他の写本】

【新約聖書 Vat. Lat. 39】

13世紀前半に南イタリアでヴェネツィアの貴族ゾルツィ家のために製作されたと推測。縦20cm 横15cmの小型の写本で、118点の挿絵が描かれている。

【ホルカム聖書】

14世紀初頭にロンドンで制作された聖書絵本。旧約聖書と新約聖書の代表的なよく知られたシーンが230以上のイラストで描かれています。

細かく詳細な挿絵に、主にアングロ・ノルマン語又は中世英語で書かれた説明テキストが添えられています。通常の中世写本と違い、まず挿絵が描かれその後文章が書かれています。